

ただ栄光のためでなく —フリー・メール—

岐阜経済大学経営学部 経営情報学科 井戸 伸彦

来歴:

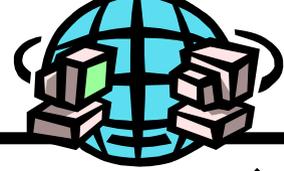
0.0版 2003年5月21日

0.1版 2005年6月16日

はじめに

- (1)フリーメールとは？
- (2)どうして無料なのか？
- (3)注意:個人情報
- (4)Yahooメールの登録手順
- (5)注意:フィッシング詐欺

(1) フリーメールとは？



- インターネットを通じて無料で提供されるe-mailサービスのことです。申し込めば無料で自分のメールアドレスを開設し、e-mailの送受信が行えるようになります。
- Webブラウザを使って受信メールの閲覧やメッセージの作成・送信を行う「Webメール」型のシステムが一般的。

Webが閲覧可能な端末であればどこでも利用可能。

■ どうして無料なのか？

- 利用者のアドレスには定期的に企業からの広告のメールが配送されるようになっており、広告収入でサービスが運営されています。
- 大手のポータルサイトが自社サービスの一環として提供することが多く、代表的なものにはgooの「gooフリーメール」や、MSNの「Hotmail」などがあります。

(2) 注意：個人情報

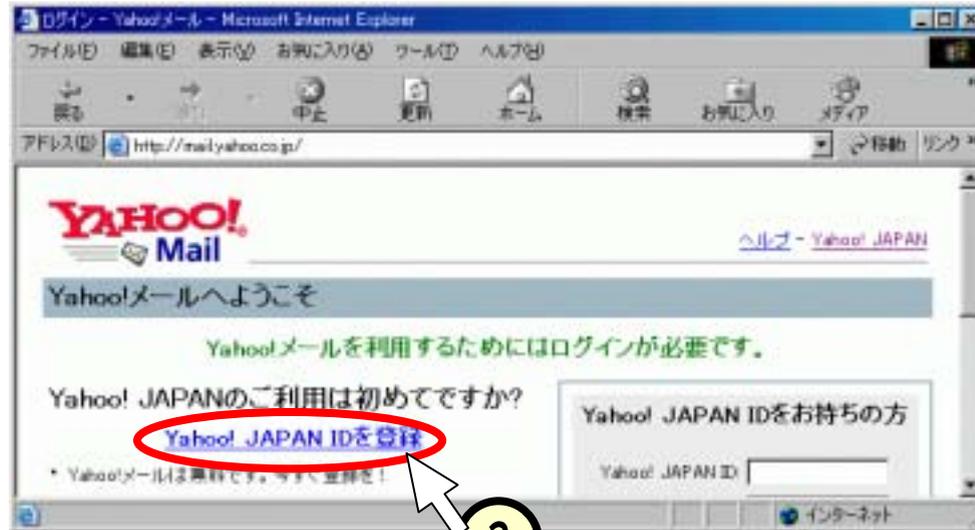
- 無料Webメールのアカウントを登録する際には、個人情報を通知することになります。
- これをどのように考えるかは、個人の責任とします。
- 一般には、「自分のメールアドレスを知られたくない」という人が、どうしてもメールアドレスを通知しなければならない時、フリーメールのアカウントを設けて、これを通知するようにも使います。無料なので、いざとなれば棄ててしまえばOKということです。



(3.1) Yahooメールの登録手順 - 1 -

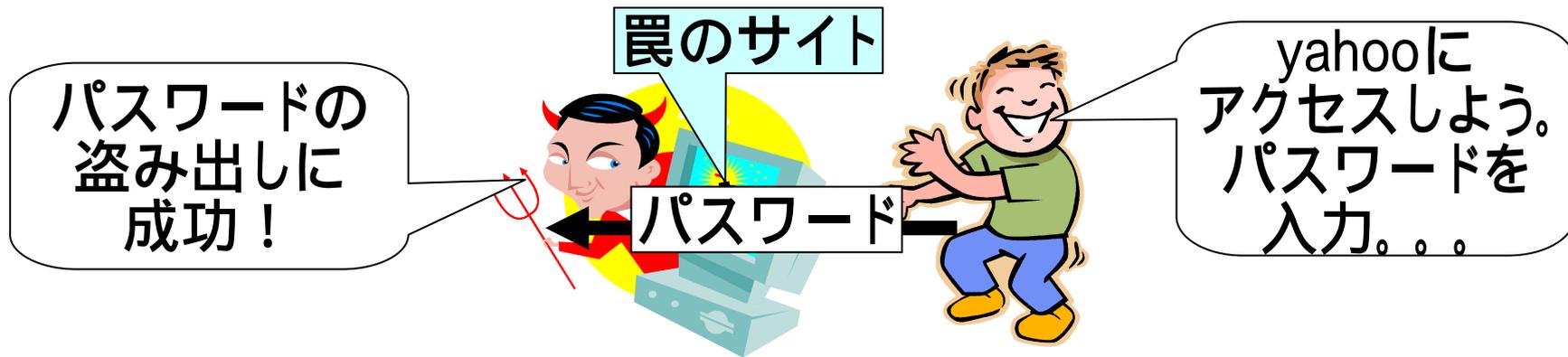
■Yahoo Japanのサイトを開き、右上のほうにある[メール]をクリック(①)する。

■[Yahoo Japan ID]を登録をクリック(②)する。



(4.1) 注意: フィッシング(Phishing)詐欺

- 実在の銀行・クレジットカード会社やショッピングサイトなどを装い、それにそっくりな「罠のサイト」に呼び込んで、クレジットカード番号やパスワードなどを入力させてそれを入手してしまうという詐欺。



- 多くの場合、もっともらしいメールが送られてきて、そのメール内のリンクから「罠のサイト」に呼び込む。

あなたの口座の更新期限が迫っています。こちらのサイトから更新手続きをしてください。

<http://xxbank.co.jp/update>

(4.2) フィッシング詐欺から身を守る

- メールを信用しない、リンクをクリックしない。
 - 現在使用しているメールシステムでは、送信元を偽ったりすることが簡単に出来てしまいます。「メールは信用できないもの」ということを頭に入れておいてください。
- 不審な点があるときは、“こちらから”本物のサイトにアクセスする。
 - “メール中のリンクをクリックしてサイトにアクセスするのではなく、こちらでWebブラウザを開いてブックマークなどからアクセスするようにします。